

# 令和3年度(2021年度)事業報告

## (令和3年(2021年)4月1日から令和4年(2022年)3月31日まで)

### 2. 国際協力事業

- ① JICA課題別研修「小規模農家のためのアグリビジネス振興(B)」  
コース研修員受入事業 <6月 3日～8月13日 於：オンライン研修>  
<2月14日～2月25日 於：オンライン研修>

2021年度の受入研修員：フランス語圏アフリカ6カ国12名  
ブルキナファソ、コモロ諸島、コンゴ民主共和国、ギニア共和国、  
マダガスカル共和国、マリ共和国

6月～8月は、2020年に作成した遠隔講義用の教材を配信して研修を実施し、YouTubeによる動画配信後、單元ごとにオンラインによる振り返りや質疑応答、意見交換などを実施し、アクションプランの作成まで実施した。最終評価において、研修参加者からは、「講義動画・翻訳(通訳)・研修者及び講師との交流活動など、非常に良い研修であった」との評価を得た。

来日しての研修は難しかったので、滝川の農業についての動画を夏から撮影して技術編教材を作成しました。2月に技術編を活用して、オンライン研修を実施した。

- ② 「北海道在住外国人緊急支援プロジェクト」(食料支援)  
<9月12日(日) 於：たきかわ観光国際スクエア>  
<2月13日(日) 於：たきかわ観光国際スクエア>

生活に困窮している外国人に対して食糧支援を行うためのプロジェクトを、HIECCと連携して実施した。(1回目の参加者：40名)(2回目の参加者：24名)  
技能実習生が中心の支援活動となったが、地域に住む外国人でこれまで関係性の薄い外国人の方々を知るきっかけとなった。

### 4. 調査・研究資料提供事業

- ① JICA草の根技術協力事業(草の根パートナー型)  
「新ブランド作物(玉ねぎ)による農家の収入向上～フードバリューチェーン構築～」  
<通年 於：滝川市内外、モンゴル国>

5月26日(水)に担当者を現地派遣した。春先は作業が若干遅れていましたが、その後玉ねぎの栽培については順調に進めることができ、見込んでいた生産量(種球の収穫等)を達成することができた。(10月22日(金)帰国)

今年度は、基盤整備が中心となったが、モンゴル国内のコロナ感染症拡大の影響で度々移動制限がかかるなど一部の作業に遅れが出るようになった。さらに、モンゴル国内の物価が高騰したため、当初予算では対応できなくなり、12月に契約変更手続きを行ない対応した。

専門家が渡航できていない状況が続いている。また、冬期間の玉ねぎ保管については課題が残った。



モデル農園の様子



### <関連>

【JICA】から実施団体のインタビューを受け、ホームページに紹介されています。

紹介ページ → [https://www.jica.go.jp/sapporo/topics/2021/20220114\\_2.html](https://www.jica.go.jp/sapporo/topics/2021/20220114_2.html)

【JICA】から2021年度 JICA-Net マルチメディア教材として本事業が指定され、取材を受けている。

モンゴルでJICA事業を進めている他団体の依頼を受けて、JAたきかわを紹介した。  
(1月27日にオンラインで「滝川のなたね取組事例」の講義が実施された。)

### ② JENESYS オンライン交流プログラム 【テーマ：若手ジャーナリスト交流事業】 (対象国：インドネシア共和国) <3月12日(土) 於：滝川市>

一般財団法人日本国際協力センター（JICE）から協力依頼を受け、インドネシア共和国から若手ジャーナリスト18名を受け入れた。オンラインでの交流となったが、滝川市の四季や産業等の自治体紹介、市内の報道機関（プレス空知・FMG'sky）などを紹介した。その後オンラインホームビジットを開催し、4家庭の協力を得て実施した。